

羽村市で発生したパラシュートの一部の落下について（要請）

平成30年4月10日、北関東防衛局からの連絡により「米軍によると、本日（4月10日）、午後5時ごろ、横田基地において、訓練中のパラドロ隊員1名が異常を感じたため、パラシュートの一部を切り離す措置を執った。この際、パラシュートの一部が羽村第三中学校に落下した。当該パラドロ隊員は安全理に基地に降下した。けが人、物的損害は今のところ確認されていない。横田基地としては、訓練中にこのような事態が生じたことは重大な問題と考えており、遺憾と思っている。原因究明を行っていくとのこと。この際、業務課長から横田基地広報部長に対し、遺憾の意及び再発防止を口頭で伝えたとのこと。」との情報を得ました。

パラシュート降下訓練については、これまでも当町周辺の上空を旋回することが多く見受けられています。今回の訓練中の事故については、現段階で被害は確認されていませんが、基地外の公共施設である学校に落下したため、ことに多くの住民に不安を与えかねません。

については、事故の発生に対して嚴重に抗議するとともに、下記の事項について要請します。

記

- 1 事故の経緯を明らかにするとともに、事故の原因究明及び再発防止の徹底を図ること。
- 2 訓練に係る点検整備を強化し、安全確保の徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を当町に速やかに提供すること。

平成30年4月12日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官 ケネス E. モス大佐 殿

日の出町長 橋本 聖

